

地球SOSプロジェクト



はじめに

- ・ **地球SOS**は、福岡で頑張る**クリーンな企業や店舗が集まるプロジェクト**です。
- ・ 世界規模の貧困問題から身近な経済問題まで、大小様々に広がる諸問題を少しでも何とかしたい、このような思いで2010年5月に当プロジェクトを発足致しました。
- ・ 現在は**街頭募金**や**募金箱の設置**をはじめとして、日本での**チャリティイベント**や途上国での**ドネーション**※を行うなど、活動を広げております。

※ドネーションとは…先進国で使わなくなったものを途上国へ持って行き、貧困地区等の方達に配るとい寄付活動のことです。



私たちの活動

- ・ 月に数回**募金活動**や**チャリティイベント**を行い、集まったお金で**途上国に雇用を創出し**、貧困で苦しむ人々を救います。
- ・ 月に数回**勉強会**を開き、学生、社会人、それぞれの視点で**現代に必要な教育**を模索します。
- ・ 月に数回**定例会**を開き、**クリーンな意識の高い人々が集う**、純粋なコミュニティの輪を広げます。

入会条件

1. 趣旨を理解していただけること
2. 主体的な活動をしていただけること
3. 募金箱を設置していただけること

Save Our Smile !

- ボランジネスへのチャレンジ！ -



1. 私たちのご提案

- ・ 本件の趣旨
- ・ 途上国の現状
- ・ ゴミ山に住む子どもたち
- ・ 利益より社会貢献の時代

2. なぜ今、社会貢献なのか

- ・ ドネーションからボランジネスへ
- ・ ボランジネスへの挑戦
- ・ 私たちの成果
- ・ これからを築く「人」の育成

3. ご理解とご協力

- ・ HJP会社概要
- ・ NPOとの協力体制
- ・ ご協力のお願ひ
- ・ 今後の展望

本件の趣旨



- 株式会社HJPで所有する農園を貸し出し、途上国の**貧困層の方々を雇用しよう**という計画です。募金によって雇用を増やしていき、そこで出来た収益を次の雇用へと繋げることで**経済の基盤をつくり、貧困からの脱出**を目指します。



途上国の現状



凄惨な世界

私たちは海外で植林事業をするにあたり、目を疑うような光景を何度も目撃してきました。ごみの山の中にごみでしきりをつくり、家として住んでいる人々。雨が降ればぬかるんだごみ山がそこかしこで崩れ、何人もの生き埋めによる死者を出します。子どもたちはそこでゴミを売って生計を立て、ボウフラ入りの水を啜り、湧いた汚水で洗濯をする。このような生活環境が身体に良いはずもなく、彼らはあまり長い時間を生きることができません。将来の夢を聞くと「二十歳まで生きること」という衝撃の答えが返って来ます。

——格差とは、どうして生まれるのでしょうか？貧困とは、どうすればなくなるのでしょうか？ゴミ山で暮らす彼らを見て、私たちは世界への挑戦を始めました——。



▲地平線の彼方まで広がるごみ、ごみ、ごみ…

▲ここで生きる人々の暮らしをあなたは想像できますか？

▲水質汚染と水上生活者も問題に…



これが、世界の現実——

- ・ こういった現実があることを、先進国に生きる私たちは知る必要があると思うのです。
- ・ 現実を知り行動することは、必ず、彼らのためにも、私たちのためにもなるはずです。



大量のごみに囲まれて生きる子どもたち



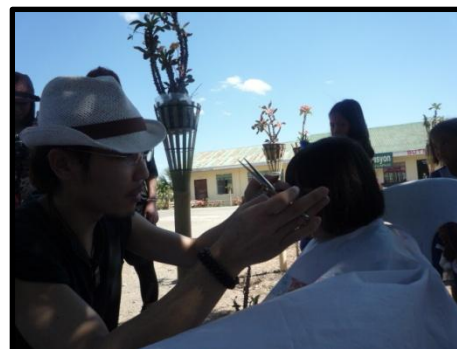
↑ 環境ホルモンは子どもたちにも影響…

↑ 先進国の一人として放っておけない現実。あなたはごどう思いますか…？



時代の選ぶ道、それは“利益”より”社会貢献”

- ・ こちらは2010年1月にフィリピンで行われたチャリティカットの映像です。(株)junca japan 代表、永留久之氏率いるプロの美容師らが、現地の子どもたちへ無償でヘアカットを提供してくれました。チャリティカットの様子を撮影した動画はyoutubeにアップロードされ、この活動は41社ものメディア媒体によって扱われるに至っています。
- ・ 世界情勢に多くの不安を抱える現代。企業による社会貢献が人々を支える時代の幕開けです。辛いから見て見ぬふりではなく、誰もが辛い今だからこそ、誰かのために何かを。人と人が純粹に心と心で繋がり合い、笑顔を交わして生きてゆける世界。世界をそうするための礎でありたいと、私たちは思うのです——



ドネーションからボランティアへ

あなたは 今の日本に、物足りなさを感じた事はないでしょうか。漠然と続く毎日。どこかしらに付き纏う将来への不安。

かつての日本はどこへ行ってしまったのでしょうか。互いに励まし合い、支え合って、共に高度経済成長を駆け抜けた、あの頃の日本は。

今の日本には人と助け合う精神がないとは思いませんか？それは生まれつきの豊かさに慣れ、**本当の貧しさを見たことがない**からなのかもしれません。

あなたは知っていますか？10秒間にひとつ、東京ドームと同じ分だけの森が消えていることを。
あなたは知っていますか？**途上国に働きたくてもチャンスすらない人々がどれほどいるのか**を。

海外で事業を行い、フィリピンの現実を知るにつれ、私たちの目には涙が溢れました。

彼らは知らないのです。「裕福」というものがどんなものか。彼らは知らないのです。「日々の安定」というものや、「平和な暮らし」というものがどんなものか。

同じ人として、これほど悲しいことがあるのでしょうか？

私たちは有志を募り、**ドネーション**を始めました。



いらなくなった
Tシャツ
ズボン
靴
カバン
日用品

を、私たちにお預け下さい！

■私たちがHJPは、発展途上国フィリピンにおいて、土壌汚染・環境汚染防止の為に植樹事業を行っています。その活動の一環として行われているのが、日本でいらなくなった洋服や日用品をフィリピンへと運び、貧困の厳しい日々へ暮らすというドネーション(寄付)という活動なのです。

■ドネーションは、HJPのスタッフと共に、同行されたの感謝で行います。得意の力々と感謝を込めながら、ご自身で手際することで生まれる心の交流は、何では測れません！もちろん、現地に行けないお客様の御物も、私たちが責任を持って預けがら、現地の方々にお届けします。ごなともお気軽に参加ください！

お問い合わせ 株式会社HJP

〒810-0021 福岡市中央区今泉1-2-20 天神プレイスWEST1110号
Tel / 092-791-8844 Fax / 092-791-8739
E-mail / hjp@higashijp.com web / http://www.higashijp.com

【お断り】冬服や一部おもちゃ、その他搬送が難しいものなどはバザーなどに出品し、寄付金とさせていただきます。



しかしそこで私たちは、すぐに厳しい現実を思い知りました。今日とも明日とも知れない命。ドネーションは、まさに焼け石に水を注ぐかのごとくでありました。人々を覆い尽くした貧困の前に、私たちの寄付はあまりにもちっぽけなものだったのです。

それでも私たちは走り続けました。
「ならば、貧困を脱する経済基盤を作る。」



フィリピンには今もなお、ゴミ山に住むことを余儀なくされている人々がいます。私たちの植林事業は無限の雇用環境の可能性を秘め、貧困を打ち砕く希望に溢れているのです。

さあ、今こそ世界を動かす大いなる流れに。
大河の一滴に、私たちもなろうではありませんか。



今私たちは、私たちの持つ土地を提供して人々の雇用を行うシステムを作り、その雇用にかかる経費を募金によって捻出できないかと考えています。これでどのような変化が起こると思いますか？
どれほどの人々が幸せを手にすることができると思いますか？

事業のことを知り、世界の現実を感じて下さい。
世界に残る結果を、日本人が出すのです。
経済成長が頭を打ち、誰もが辛い今。利益より社会貢献の時代がやってきます。私たちは誰よりも最先端を生き、それを発信するのです。「日本人として」。

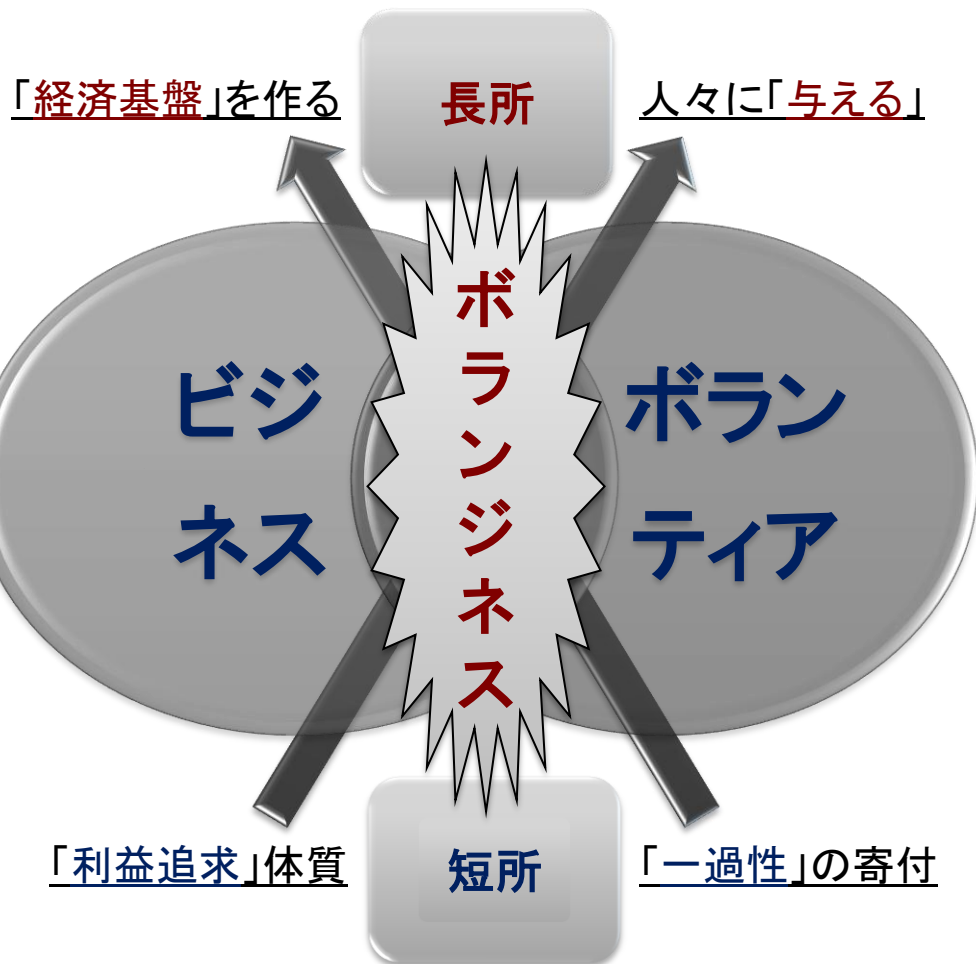


ボランジネスへのチャレンジ

～ボランティア(一過性の寄付)だけでもない、ビジネス(利益追求)だけでもない～



- ・ボランジネスとは、ボランティアとビジネスを組み合わせた造語です。
- ・孔子の教えにもあるように、お腹を空かせた人にただ魚を与えるのではなく、魚の「取り方」を与えよう、ということです。



- ・「ボランティアにできてビジネスにできないこと」、それは「与える」こと。
- ・「ビジネスにできてボランティアにできないこと」、それは「経済基盤を作る」こと。
- ・私たちはボランティアとビジネス、この2つの長所を繋ぎ合わせた「ボランジネス」で、貧困に苦しむ人々が、自らの足で立ち、技術を身につけ、経済的な基盤を持てるよう支援したいと考えています。
- ・途上国を覆う圧倒的規模の貧困問題に立ち向かうためには、残念ながら既存のボランティアだけでは解決には至りません。ボランティアというものはその性格上、どうしても一過性な部分があるため、その地に定着した経済基盤に繋がらなければ問題の核まで到達することが出来ないのです。

私たちの成果



- ・農園での雇用が現地経済の基盤となり、人々の衣、食、住が支えられています。
- ・現地農園には人が集まり、村ができ、学校ができました(写真は現地農園のブーテッドプライマリー学校)
- ・井戸の寄付(画像)を行い、引き続き設備の寄付やメンテナンスを行っていきたい考えです。
- ・現地でのドネーションで、たくさんの笑顔をつくってきました。今後もこういった活動は月に一回以上を目安に継続して行いたいと考えています。
- ・この子どもたちの明るく輝く笑顔が、私たちが一生懸命やってきた結果です——



残念なことに、通常の寄付金は途上国のどこまで行き届いているのかがわからない事が多いのが実情です。せっきくの寄付も末端の貧困層まで行き渡らず、上流だけでその潤いがせき止められてしまうのも、途上国のひとつの現実なのです。川上から川下まですべての流れを把握し、管理する。これは私たち、実際に事業を行う者にしかできないご提案です。

これからを築く「人」の育成



本当の教育とは何でしょうか？

ドネーションに日本の子どもたちを連れていくと、どの子も見違えるように大人になって帰ってきます。

行く前はやれゲームだおもちゃだ、どの子はどれの何のソフトを持っている、などと言っていた子どもたちが、帰って来ると自ら率先してドネーショングッズを募るようになる。今日を生きる糧、今日を生きる水にすら苦しむ同年代の姿を見て、心に大きな変化を生むのです。

私たちはその姿を見て、これこそが本当の教育なのではないかと感じました。

環境が健全な心を育み、健全な心は健全な人を作ります。

様々な事象で日本が病み、人が病みしている今こそ

心身ともに逞しい「人」をつくることにも、この取り組みは大変有効だと思うのです。



HJP会社概要



HJP

2008年(Phil.)

- ・HIGASHI JATROPHA PLANTATIONを設立
- ・海外で植林事業並びに緑化運動を展開

2009年

- ・DSK社(Phil.)と資本業務提携
- ・3社のNPO法人(次ページ参照)と植林事業業務提携

2010年

- ・UNEP(国連環境計画)と提携
- ・スモーキーマウンテンに生ごみコンポスト処理場建設着工
- ・株式会社HJPを設立(Japan)

1991年6月、ピナツボ火山の噴火により、フィリピンには広範囲に渡って不毛の大地が広がりました。株式会社HJPは海外の植林事業に従事しており、こうした死の大地を何とかしたいとの思いで土壌の緑化運動に取り組みました。やがてそこで取れる作物の実や種から製品が作られるようになり、それらの販売により収益を見込むことができるようになりました。



NPOとの協力体制



私たちは、3社のNPO法人との植林事業業務提携を行っております。

- ・Happy Green Project <http://www.happy-green-project.org/index.html>
- ・新しい風 <http://a-kaze.org/index.html>
- ・E&E <http://www.server-2.net/e&e/>



■ Happy Green Project ■ 今世界中で、地球温暖化が深刻な問題になっています。それに起因する災害や気候変動・生態系への影響等、46億年の歴史の中で、今劇的な変化が起こっています。そのような中、様々な立場での温暖化防止の取組みが世界各地で行われています。この「Happy Green Project」に一人でも多くの方々にご参加して頂き、「Happy Greenの輪」を拡げていけたらと願っております。



■ 新しい風 ■ フィリピン共和国では、1991年6月に500年振りに起こったピナトゥボ火山の大噴火で火山灰が降り積もった不毛の大地が存在します。この不毛の大地を緑豊かな森にしよう! その活動が温室効果ガスの吸収源になり地球環境に貢献できます。また植物油の生産に繋がり、失業率が38%もあるこの国に雇用を創出できるのです。雇用を創出できれば現金収入を得て、子ども達を学校に通わせることもできると思います。



■ E&E ■ 『明日のエコでは間に合わない』今。直感的にひらめいたのが、「木を植えよう」でした。同様なジレンマを抱えていらっしゃる熟年諸氏、子育てに日々奮闘されている青年諸氏に幾ばくかの『夢』を提供できれば、という想いで、『植林事業』の概要を発表していきたいと思ひます。

『社会林業』を取り巻く、様々な問題点と、解決方法を時間の許す限りお伝えしていく所存です。

ご協力をお願い

- ・皆様には、募金箱の設置をお願いさせていただきます。
- ・収益はHJPの管理する農園に使用され、貧困層への雇用に充てられます。
- ・貧困に苦しむ人々の雇用にご理解ご協力いただけましたら幸いと存じます。

無料会員の募集

- ・募金箱やチャリティイベントの開催につきまして、現在会員様を募集しております。
- ・会員様にはメールマガジンにて、街頭募金や月例会などの開催、協賛店舗・企業様のお得情報等を配信させていただきます。強制などは一切ありませんので、純粋に地域を盛り上げるコミュニティの一環としてご利用いただけましたらと存じます。

御社におけるメリット

- ・弊社HPによるCSR宣伝
 - (1.環境への取組を行う企業としての、クリーンなイメージの醸成
 - (2.企業名・企業画像・代表者様からの一言コーナーの設置
 - (3.社会貢献情報などの更新・メルマガ配信
 - (4.ショートストーリーなどの撮影、youtubeなどメディア媒体へのアップロード
- ・現地ドネーションのセッティング及び撮影、その他プロモーションビデオの制作(有料)
- ・御社の活動としての実績・公表・相互リンク
- ・オリジナル環境取組バナーの使用許可等



募金箱外観

今後の展望

ボランジネス募金関連企画の推進

- 飲食店様・企業様における募金箱の設置
- 協賛企業様・会員様の募集
- 街頭募金（月一回以上予定）
- 月例会開催（月一回以上予定）

ドネーション関連企画の推進

- ドネーショングッズの募集・回収
- 現地でのドネーション（月一回以上予定）

その他日本での活動

- 絵本・キャラクター・ショートストーリー等の制作
- 学校向けの環境を題材にした課外授業の開催
- 関連グッズの制作・販促
- チャリティイベントの企画





会社概要

会社名 株式会社HJP (ヒガシジャトロファプランテーション)

所在地 本 社：〒810-0021 福岡県福岡市中央区今泉1-2-20-1110
 東京支社：〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-12-7
 岐阜(営)：〒500-8369 岐阜県岐阜市敷島町6-9
 大阪(営)：〒573-1192 大阪府枚方市西禁野2-46-9-11
 広島(営)：〒733-0812 広島市西区己斐本町2-18-14 1F
 海外支社：ZIP-C 1000 35B One-AdriaticoPlace Pedro-Gil ST., Ermita Manila Phil.
 ZIP-C 4103 Phil. ST., Phase II Sarreal Vill. Bacandala Imus Cavite Phil.

設 立 2010年4月1日

役 員 代表取締役 東裕之
 取締役 重富武也
 取締役 高橋広幸
 取締役 藤信行
 顧問 松尾嘉三 (福岡県春日市議会議員)

資本金 50,000,000円

- 事業内容
- ジャトロファ植林事業
 - ジャトロファオイル販売
 - 有機肥料 ・ ペレット販売
 - 排出権プロジェクト
 - 海外日本人村事業
 - 海外銀行口座
 - 経営塾

株式会社HJP 沿革

- 2008年 1月 HIGASHI JATROPHA PLANTATIONを創立
- 2008年 2月 ジャトロファのテスト栽培を開始 (2ヘクタール)
- 2008年 5月 約40ヘクタールを所有しジャトロファの栽培を開始
- 2008年 9月 新たに100ヘクタールを取得しジャトロファの本格栽培を開始
- 2009年 1月 DSK DOCUMENT FACILITATION SERVICE社(Phil.)と資本業務提携 (3,000ヘクタールの植林を目指す)
- 2009年 6月 3社のNPO法人と植林事業業務提携 (HappyGreenProject)
- 2009年 9月 ふくおか経済9月号にグループ会社が掲載
- 2009年 11月 ふくおか経済11月号にグループ会社が掲載
- 2009年 12月 環境フォーラムin福岡を開催
 福井新聞12月13日にグループ会社が掲載
 環境ビジネス1月号にグループ会社が掲載
- 2010年 1月 ビジネス部会in福岡を開催
 環境フォーラムin東京を開催 (四宮浩映画監督と提携)
 UNEP(国連環境計画)と提携
- 2010年 2月 同監督撮影地のケソン市バヤタス地区スモーキーマウンテンにて生ごみコンポスト処理場建設着工
- 2010年 3月 排出権フォーラムin福岡を開催
- 2010年 4月 株式会社HJPを設立 (JAPAN)

